

テーマ別意見交換 事前に頂いたご意見

【テーマ】 住んでいる市民が、生きがいを持って、楽しく元気に暮らしていくために、今私たちができること
2015.6.1

子どもに関すること	
地域ぐるみでの子育て	大人(高齢者)と接する機会をもち、日本の文化や地域の歴史等々を語りつぐ場をもつことが必要ではないかと思う。
	通学路での見守り、子供との交流行事への参加指導、交通危険力所の把握、災害危険力所の把握
	小中学生の登下校時の安全見守り
	地域行事(祭り)の受け入れ
機会の充実	千葉や東京へ出なくても地元で進学・就職できること
	親子一緒に体験できる、自然体験、農作業体験、地場産物を使った料理の提供
	児童を対象にした集団遊びの実施
	子ども会の活性化
環境整備	子どもたちが自然の中で、安全に楽しく遊べる環境づくり
	レジャー施設を増やすこと
	幼児が全身を使った遊びのできる広場・公園の管理
学力向上	落ちこぼれを出さないための補習を充実させる。なお、教師の負担軽減のため、塾講師の登用を図る。
	親の収入に学力が比例すると言われていたが、全ての子どもが楽しく学び、しっかりとした学力が身につけられるようなシステムづくり
教育全般	運動・文化など、あらゆる面で子どもたちの可能性を最大限に引き出せる環境づくり
部活動	部活動はコーチに民間人の登用を進め、教師の負担を軽減する。将来的には学校主体の部活から、地域スポーツクラブへと変換する。
人口対策	子供を増やすこと

お年寄りに関すること	
地域での支えあい	独居老人の見守りを、町内会や班の組織を使って行う。
	「向こう3軒両隣」の再構築。お互い様の考えで、できる人ができることを手伝う近所の関係。日頃からのつきあいを大事にする。子どもの頃からつきあいが当たり前な生活をする事により、大人になった時に自然に順番として役割ができる？
	近所同士の見守り、普段の交流、声かけ運動、老人会の積極的参加支援活動、独居老人宅や要介護者の把握
	町会単位でのお手伝いと見守り。(訪問・お話を繰り返しながら、)高齢者の健康と変化への対応を学ぶ人を増やす。

交通弱者・買い物対策	コミュニティバスの導入については、官民で協力して進める。
	買物は民間企業との連携を図る。
	コミュニティバスの運営(郵便局やスーパーをまわるルート)
歴史・知識・経験の伝承	長年培ってきた知識や経験を活かし、地域の支え手として活動・活躍できる場の提供
	地域の歴史、人の体験の聞き取り。聞き取ったものの活かし方を考える。館山の良さ(伝統)をつなげる。
健康維持	ラジオ体操や軽スポーツ等に、より多くのお年寄りが気軽に参加し、継続できる環境づくりや、それらに対するサポート
	各個人が生きがいをもって健康を意識する。
労働	働く意欲のある方がいくつになっても働くことのできる場の提供(週2, 3回でも、数時間でも)
その他	子ども園にデイサービスの施設を併設

地域の困りごと	
地域での支えあい	普段からの隣近所との交流、行事への積極的な参加、意見交換の場作り。
	活動や組織からでなく、困りごとや、組織への認識調査をして、活動にしていく形をとることで、無関心・諦めではなく、共通のテーマに対して考えを持った市民としての集合体を創っていく。提供者と受益者の関係ではなく、一緒に考え関わりながら創ることで、自立した、創造的市民を増やしていく。
移住者	地元の方は良いが、転入してきた方(特にアパートなど)が地域に溶け込むことが難しいとの話を聞く。近所の方や世話好きな方から積極的に地域行事への参加に声をかけていく。
若者	若者は消防団に積極的に加入し、地域住民がその活動を応援する。
防災・防犯	災害危険個所の把握・承知
道路・排水	道路・排水整備については、住民と町内会長が密に連絡をとり、行政に要望を上げる。
行政	些細なことからでも、各区内で相談しあえる雰囲気づくりをすすめると共に、例えば、市役所内に「困りごと相談室」のような担当部署を作ってはどうか。
	高齢化に伴い、地域内における側溝清掃や、里山の維持管理が出来なくなっている。市として何かしらの対応ができないのか？

その他のご意見
<p>一市民が地域というコミュニティにおいて、存在価値、役割発揮の“場”を得ること。それを子どもでも、動けないお年寄りでも、存在価値が行き交う地域でありたいと考える。 子ども・お年寄りや課題をかかえる人が活かされる“場”を創造していく。「創造的市民」を目指したい。</p> <p>今回のテーマで協力し合う、一般的な具体的内容は、例にあげられているものに加え、防犯等安全に関することだと思いますが、市民それぞれの生活環境や、又、個々の価値観によって求めるものが違うと思います。 大切なことは、人の温かさを感じられる適切な支援や協力だと考えます。又、私達が目指すこととして、自分自身が幸せを感じられる暮らし方を考え、実践することで、共感してくれる人や励みに感じてくれる人がいれば、それが相乗効果を生み出すことになります。それも又、市民が協力し合う一つの形だと思います。</p>